令和2年度　府中市立府中第二中学校　授業改善推進プラン

〔 教科名: 数学 〕

1. 生徒の現状と課題（日常の授業やテストなど、各評価資料を分析して）

【生徒の現状】

○ 基本的な内容については、概ね理解できている。文章を読み取る力、言葉を理解する力が弱く、思考につながらない傾向がある。（1年）
○ 数式の分野において思考力が伸びてきている。休校中の課題への取りくみ方による差が出ている。（2・3年）

【生徒の課題】

○ 筋道を立てながら表現する力や文章を正しく理解する力、既習事項を多様な問題に結び付ける力に課題がある生徒が多い。
○ 家庭学習を自分で考えて、主体的に取り組む習慣がついていない生徒がいる。

2. 指導上強化する観点項目

〈知識・技能〉

○基本的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したりして、数学的に表現・処理する力

〈思考・判断・表現〉

○数量の関係や法則などを考察する力、論理的に考察し表現する力、データの傾向を比較して考察したり判断したりする力

〈主体的に学習に取り組む態度〉

○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に生かそうとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりする態度.

3. 特に向上させたい具体的な資質・能力

○数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付ける。
○事象を数学的にとらえて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付ける。
○数学的活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学を活用して考えたり、判断したりしようとする力をつける。

4. 今後取り組んでいく教科指導の改善に向けての具体的な方策

〈主体的・対話的で深い学びの視点から 〉

○ 生徒の実態に合わせ、具体物の活用やICTの活用などにより興味をもてる学習教材の工夫をする。
○ 複数の解決方法を比べてより良い方法を選んだり、条件を変えて検証したりするなど、学習方法を工夫する。また、対話を通して、考えを深めたり、広げたりする方法や場の工夫をして、数学的な見方や考える力、自分の考えを人に伝える力を伸ばす。

〈ユニバーサル・デザインの視点から 〉

○ 「今、何をする。」「何分でやる。」など、具体的な指示を明確に出す。
○ 一度に2つ以上の指示や発問をしないようにする。
○ 図や表などで視覚的に課題の提示やまとめをする。
○ 内容をかみ砕いて言葉を伝えることを意識していく。

〈その他〉

○ 学習の目的を明確にして、自ら積極的に課題に取り組めるような働きかけを行っていく。
○ 応用力や活用力を身につけさせるために、既習事項をどのように活用しているかを意識させる。
○ 繰り返し練習することの大切さを伝え、日々学習に取り組むように働きかけていく。